
沼津情報・ビジネス専門学校のプロモポリシー (卒業認定・専門士授与の方針)

本校は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、産業の発展に対応する情報処理及び関連する技術と商業分野における実務教育及び関連する部門の技術を教育するとともに教育に関する学科、衛生に関する学科、一般教養に関する学科も授けて、知性高く教養の深い近代的な中堅技術者を養成し、産業の振興に寄与する」ことが教育目標であり、卒業生は学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

- 専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。
- 情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。
- 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。

医療事務科のプロモポリシー (卒業認定・専門士授与の方針)

現在、医療現場では急速にコンピュータの導入が進み、業務の効率化と迅速さを求められる中、ネットワーク化が進んでいます。また、高齢化に伴い患者数が急増し医師不足が叫ばれている中、単に「診療報酬請求事務」ができる医療事務職員だけでなく、医師の負担を減らし診療のサポートをする「医師事務作業補助者」として活躍できるなど、刻一刻と状況が変化する医療現場にて変化に強い人材が求められています。

医療事務科では、医療機関内でのコンピュータ処理やレセプト作成など医療事務担当者として求められる技術・技能の育成だけでなく、他職種の専門性を深く理解するための医学知識についても学び、同時に、医療機関で働く者としての思いやりの心、向上心などの職業姿勢についても育てます。このような、医療機関の事務担当者としての知識やパソコンによる情報処理の専門技能等の習得、そして創造力、協調性、表現力、問題解決能力などのビジネススキル習得を卒業の条件としています。

- [学びに向かう力・人間性]
地域社会に愛される技術者として、他者と共働き、自らを高め学び続けることができる。
 - [知識・技能]
医療機関・薬局などの窓口業務に必要な基礎知識を身につけている。
 - [知識・技能]
事務員に必要なコンピュータの操作や様々な作業を、効率よく取り組むことができる。
 - [思考・判断・表現]
来院者に対する状況に応じた行動の実現に向け、自ら取り組むことができる。
-